【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第２部門第１区分
【発行日】平成23年1月27日(2011.1.27)

【公表番号】特表2010-514556(P2010-514556A)
【公表日】平成22年5月6日(2010.5.6)
【年通号数】公開・登録公報2010-018
【出願番号】特願2009-544019(P2009-544019)
【国際特許分類】
Ｂ０１Ｊ　20/04　(2006.01)
Ｂ０１Ｄ　53/14　(2006.01)
Ｂ０１Ｊ　20/30　(2006.01)
Ｃ０１Ｂ　31/20　(2006.01)
Ｃ０１Ｆ　11/02　(2006.01)
Ａ６１Ｐ　23/00　(2006.01)
Ａ６１Ｋ　31/08　(2006.01)
Ａ６１Ｋ　31/02　(2006.01)
【ＦＩ】
Ｂ０１Ｊ　20/04　Ｂ
Ｂ０１Ｄ　53/14　Ａ
Ｂ０１Ｊ　20/30
Ｃ０１Ｂ　31/20　Ｚ
Ｃ０１Ｆ　11/02　Ｚ
Ａ６１Ｐ　23/00
Ａ６１Ｋ　31/08
Ａ６１Ｋ　31/02

【手続補正書】
【提出日】平成22年12月1日(2010.12.1)
【手続補正１】
【補正対象書類名】特許請求の範囲
【補正対象項目名】請求項１
【補正方法】変更
【補正の内容】
【請求項１】
水酸化カリウムおよび水酸化ナトリウムを実質的に含有しない石灰を約７０～９０％、水酸化リチウムまたは水酸化リチウム前駆体もしくはそれらの組合せを約０．１～１７％、ならびに水を約５～２５％含むことを特徴とする二酸化炭素吸収剤。
【手続補正２】
【補正対象書類名】特許請求の範囲
【補正対象項目名】請求項１３
【補正方法】変更
【補正の内容】
【請求項１３】
前記麻酔ガスは、セボフルラン、デスフルラン、イソフルラン、ハロタンもしくはエンフルランまたはそれらの組合せからなるグループから選択されることを特徴とする、請求項１２に記載の方法。
【手続補正３】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】０００７

【補正方法】変更
【補正の内容】
【０００７】
麻酔薬分解を回避するために使用される第２のアプローチは、吸収剤混合物の保水性および／または色指示特性を増強する吸湿性塩または他の湿潤剤を加えることである。特許文献５は、ソーダ石灰の保水特性を増強するために塩化カルシウムを使用することを開示している。特許文献６は、塩化カルシウムおよび／または塩化マグネシウムを０．２～２．０重量％、ソーダ石灰吸収剤配合物中で使用することを開示している。特許文献１は、水を７．５～２０重量％をもたらすのに十分な量で存在する塩化カルシウム六水和物および／または塩化マグネシウム六水和物である無機湿潤剤を包含する石灰ベースの二酸化炭素吸収剤配合物を開示している。加えて、この刊行物は、有機湿潤剤としてグリセロールを２．５～２５体積％加えることを開示している。グリセロールは、Ｃｏｍｐｏｕｎｄ Ａなどのオレフィン生成物に対して反応性であることも知られている（非特許文献１）。特許文献７は、水酸化カルシウムを含む二酸化炭素吸収剤を開示しており、これは、水酸化ナトリウムまたはカリウム、水、ホスホン酸および塩の群からのレオロジー調節剤ならびに色指示特性を改善するための塩化カルシウムを０．１～６．０重量％含有してよい。
【手続補正４】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００２０
【補正方法】変更
【補正の内容】
【００２０】
［実施例４］
塩化リチウム約８ｇおよび塩化カルシウム２３ｇを水９２０ｇに溶かし、続いて、エチルバイオレット指示薬水溶液約１５ｍＬを加えた。次いで、塩化物溶液を石灰１２９６ｇと混合し、次いで、生じたペーストをペレットに押出し、所望の含水率まで乾燥させた。
【手続補正５】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００２５
【補正方法】変更
【補正の内容】
【００２５】
［実施例５～８］
本発明の好ましい実施形態では、吸収剤配合物は、水酸化カルシウムを７０～９０重量％、水を５～２５％、指示薬染料としてのエチルバイオレットを０．０１～０．３％、水酸化リチウム前駆体としてのＬｉＣｌを０．５～１７％、および湿潤剤としてのＣａＣｌ$_2$を０．１～５．０％含有している。好ましい配合物の試料は、実施例５～実施例８の通りに調製され、ペレット硬度、セボフルラン分解副生成物の生成および二酸化炭素の利用率について試験した。水酸化リチウム前駆体としてのＬｉＣｌと、湿潤剤としてのＣａＣｌ$_2$とを含む実施例５～８での実験結果を、表２に示す。